



Ideas & Chemistry

2016.5.12

2015年度決算 補足資料



東洋紡株式会社

決算のポイント

15年度実績

- 営業利益は前年比12%増の231億円、当期純利益は25%増の101億円
- 液晶・国内自動車関連は苦戦も、フィルム新設備・新製品関連費用が減少
- コスモサインSRFは、大手偏光板メーカーへ本格販売開始
- エンプラやエアバッグなどで海外展開も進む

16年度予想

コスモサインSRFの拡大、エアバッグや医薬などの増益を見込むも、事業環境の不透明感を踏まえ、営業利益は250億円を予想

	14年度				14年度 累計	15年度				15年度 累計	直近見通し (2016/2)
	上期	3Q	4Q	下期		上期	3Q	4Q	下期		
売上高	1,723	831	959	1,790	3,513	1,797	782	899	1,681	3,478	3,650
営業利益	90	35	81	115	206	105	50	76	126	231	230
当期純利益	26	33	22	55	81	54	22	26	48	101	115

※”当期純利益”=親会社株主に帰属する当期純利益

I . 2015年度決算概況

(1) 決算概要 ① PL・CF

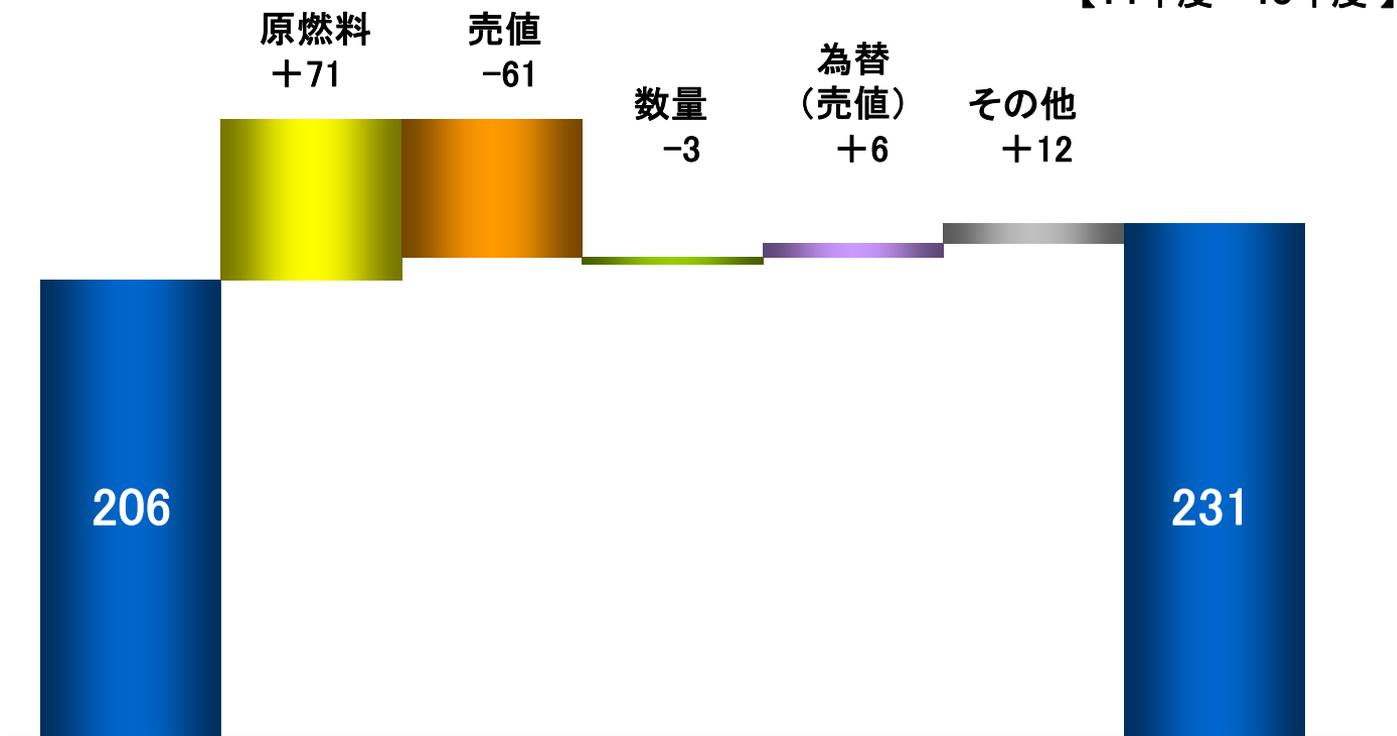
当期純利益は9年ぶりに100億円超、営業CFは323億円
(億円)

	14年度	15年度			増減		直近見通し (2016/2)
		上期	下期		金額	%	
売上高	3,513	1,797	1,681	3,478	-35	-1.0%	3,650
営業利益	206	105	126	231	+25	+12.4%	230
(営業利益率)	5.9%	5.8%	7.5%	6.6%	-	-	6.3%
経常利益	163	97	107	204	+41	+25.4%	210
親会社株主に帰属 する当期純利益	81	54	48	101	+20	+25.0%	115
EPS(円)	9.14	6.04	5.39	11.43	-	-	
減価償却費	149	71	73	144	-5	-3.2%	
設備投資	175	73	100	173	-2	-0.9%	
営業CF	201	129	194	323	+122	+60.8%	
為替レート(円/US\$)	110	122	118	120			
国産ナフサ価格(千円/KL)	64	48	38	43			

※”当期純利益”=親会社株主に帰属する当期純利益

営業利益増減要因分析

【14年度→15年度】



14年度

15年度 (億円)

	14			15		
	上	下		上	下	
円レート (¥/\$)	103	117	110	122	118	120
国産ナフサ (千円/kl)	71	57	64	48	38	43

② BS

	15/3末	16/3末	(億円) 増減
総資産	4,658	4,446	-212
棚卸資産	824	753	-70
純資産	1,611	1,601	-10
自己資本	1,580	1,569	-11
(利益剰余金)	325	395	+71
(為替換算調整勘定)	-75	-107	-33
(退職給付に係る調整累計額)	-16	-57	-41
非支配株主持分	31	32	+1
有利子負債	1,771	1,654	-117
D/E レシオ	1.12	1.05	

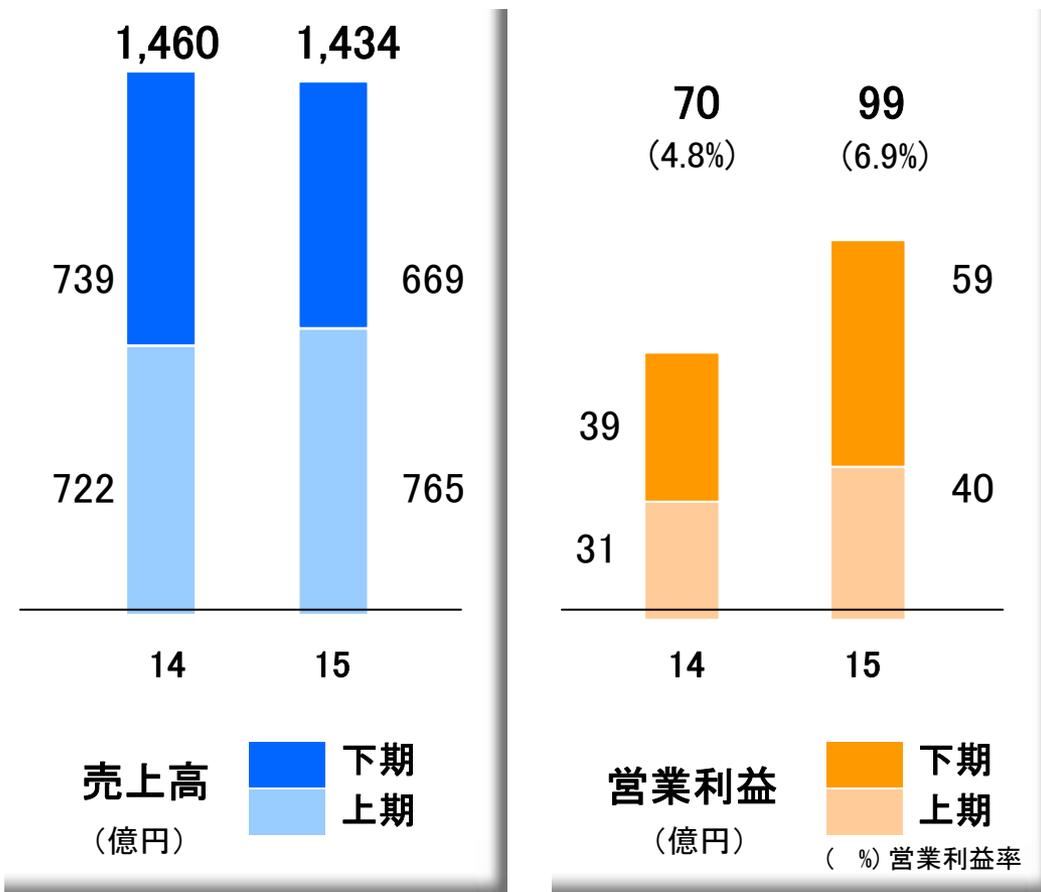
(2) セグメント別

(億円)

	売上高				営業利益				増減
	14年度	15年度		14年度	15年度				
		上期	下期		上期	下期			
フィルム・機能樹脂	1,460	765	669	1,434	70	40	59	99	+29
産業マテリアル	715	353	352	705	66	32	30	63	-3
ヘルスケア	288	135	143	277	50	21	26	47	-3
スペシャルティ計 (営業利益率)	2,463	1,253	1,163	2,416	186 7.6%	94 7.5%	115 9.9%	209 8.7%	+23
繊維・商事	851	438	416	855	23	12	13	25	+2
不動産・その他	199	105	101	206	26	15	14	28	+2
消去・全社	-	-	-	-	-30	-15	-17	-32	-1
合計	3,513	1,797	1,681	3,478	206	105	126	231	+25

① フィルム・機能樹脂

液晶・国内自動車関連は苦戦も、フィルム新設備・新製品関連費用の減少や、包装用フィルムの数量増により、増益



● 工業用フィルム

- ・液晶市場低迷も、SRFは大手偏光板メーカーへ本格販売開始

● 包装用フィルム

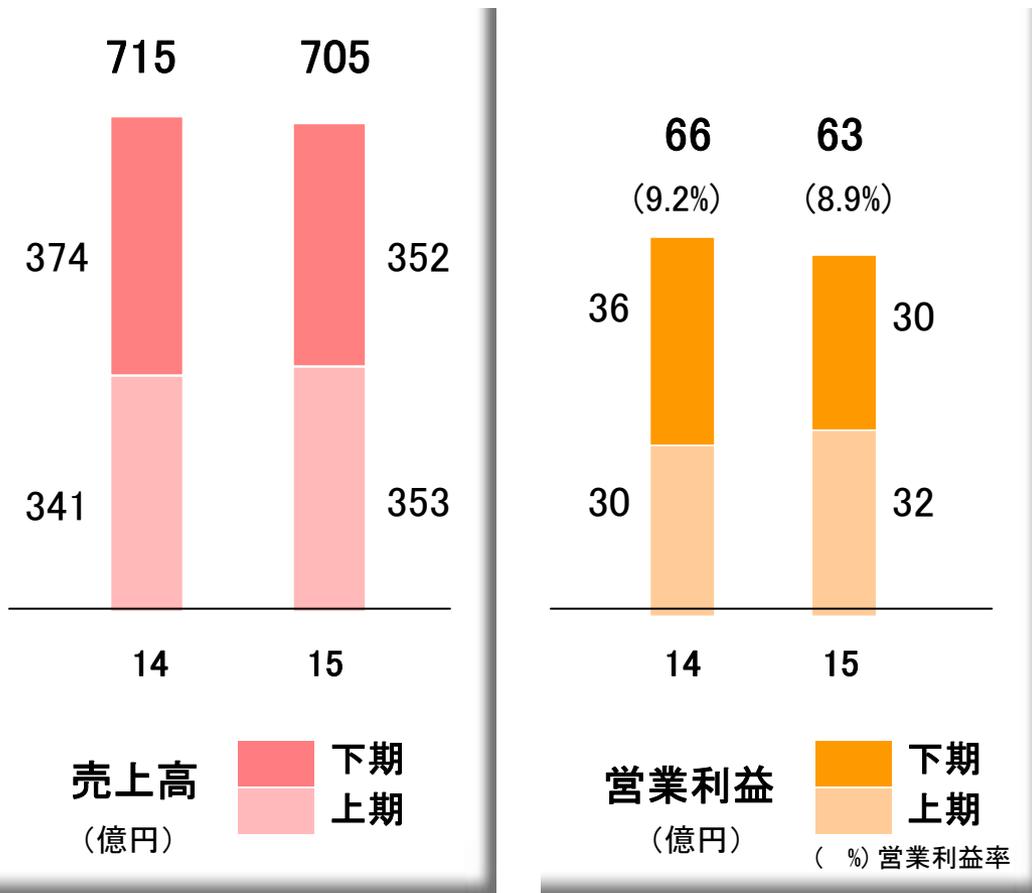
- ・インバウンド需要増、新設備本格稼働で数量増

● 機能樹脂

- ・エンプラは、国内自動車向け数量減も、海外が好調
- ・”バイロン”は、塗料やIT・電子関連で苦戦

② 産業マテリアル

生活・産業資材や機能フィルターが堅調に推移したものの、エアバッグ用基布の費用先行などで、減益



● エアバッグ用基布

- ・国内・アジア市場で数量減
- ・海外拠点整備で費用先行

● スーパー繊維

- ・"イザナス"は釣糸低調
- ・"ザイロン"が耐熱用途で好調

● 機能フィルター

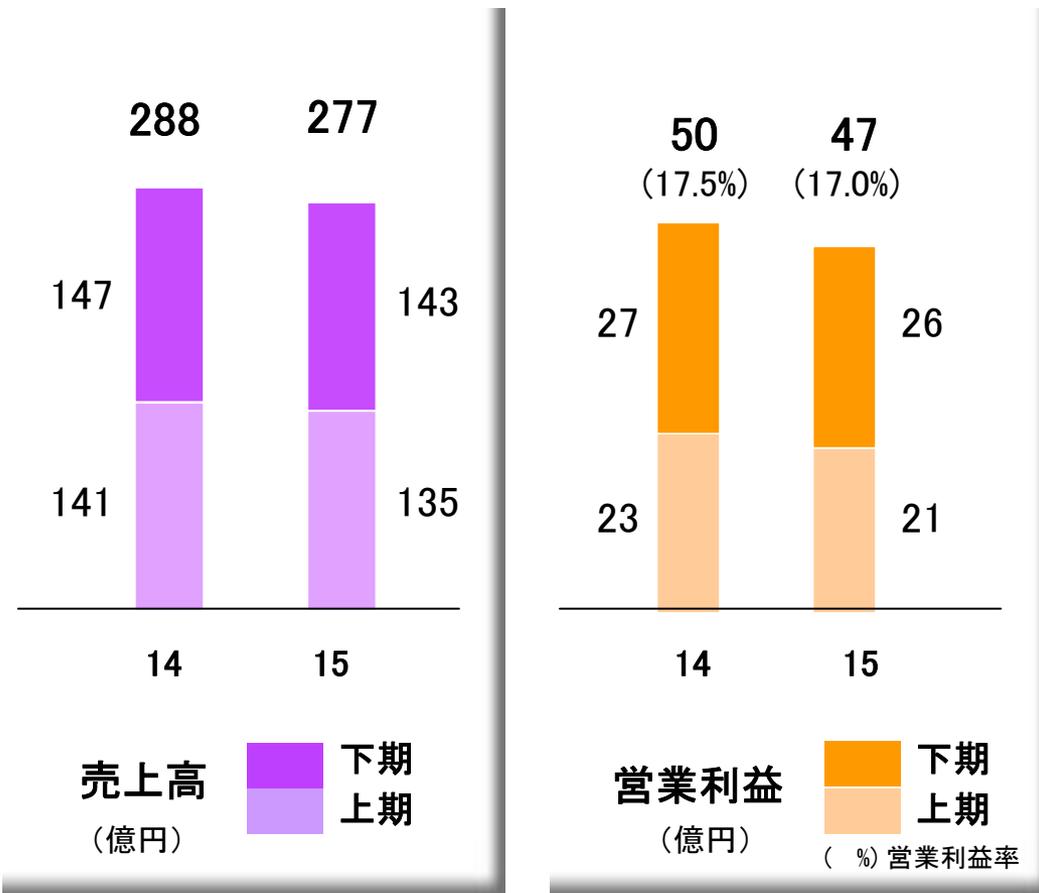
- ・家電やエネルギー用途は伸び悩み
- ・アジア向けVOC回収装置が堅調

● 生活・産業資材

- ・スパンボンドは自動車用途で健闘
- ・衛材用途のポリエステル短繊維が好調

③ ヘルスケア

ライフサイエンス用試薬、診断薬用酵素が堅調に推移するも、
医薬受託案件延期で、減収減益



● バイオ

- ・ライフサイエンス用試薬、診断薬用酵素は堅調も、診断システムが苦戦

● 医薬

- ・受託案件延期の影響あり

● 医療機器

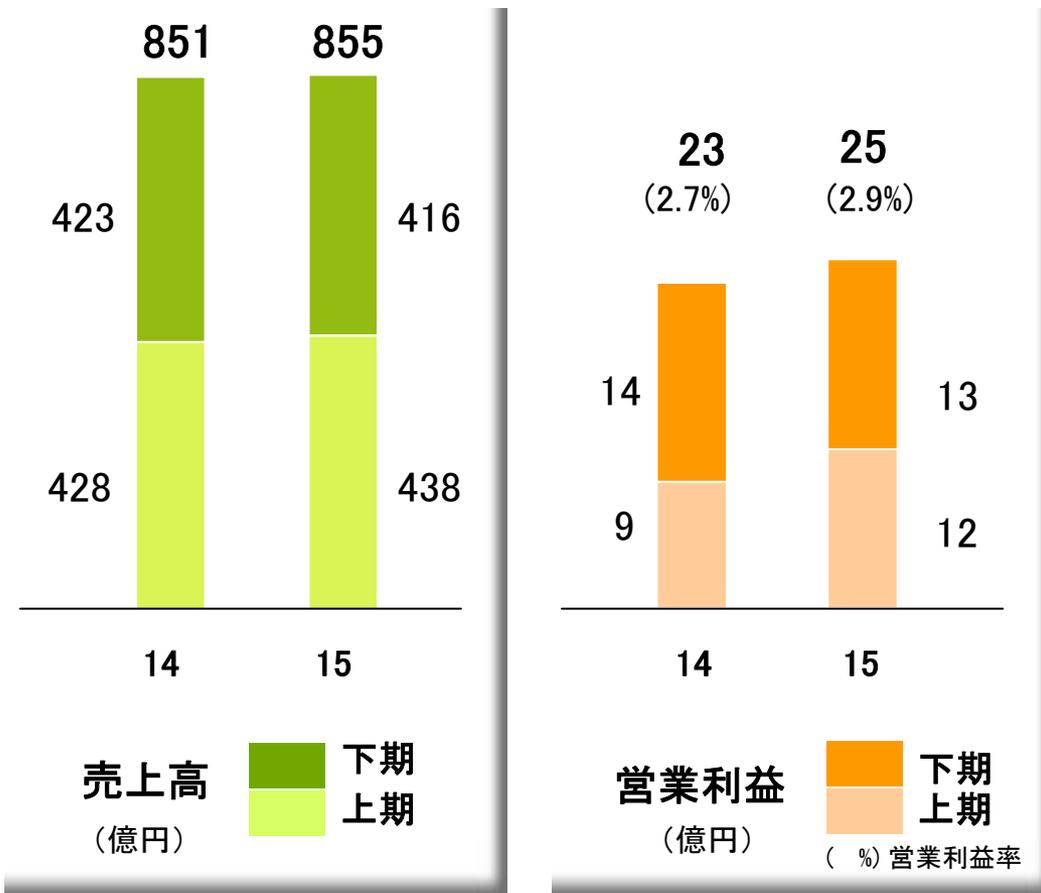
- ・ナーブリッジは国内販売体制再構築に注力

● 機能膜

- ・アクア膜(RO膜)は、国内外で交換需要堅調

④ 繊維・商事

アクリル繊維は苦戦も、中東向けテキスタイルが堅調に
推移し、増収増益



- 東洋紡STC(繊維)
 - ・中東向けトープ、好調継続
- 海外関係会社
 - ・南米で景気減速の影響あり
- アクリル繊維
 - ・中国での市況悪化の影響を受け
苦戦

Ⅱ. 2016年度業績予想

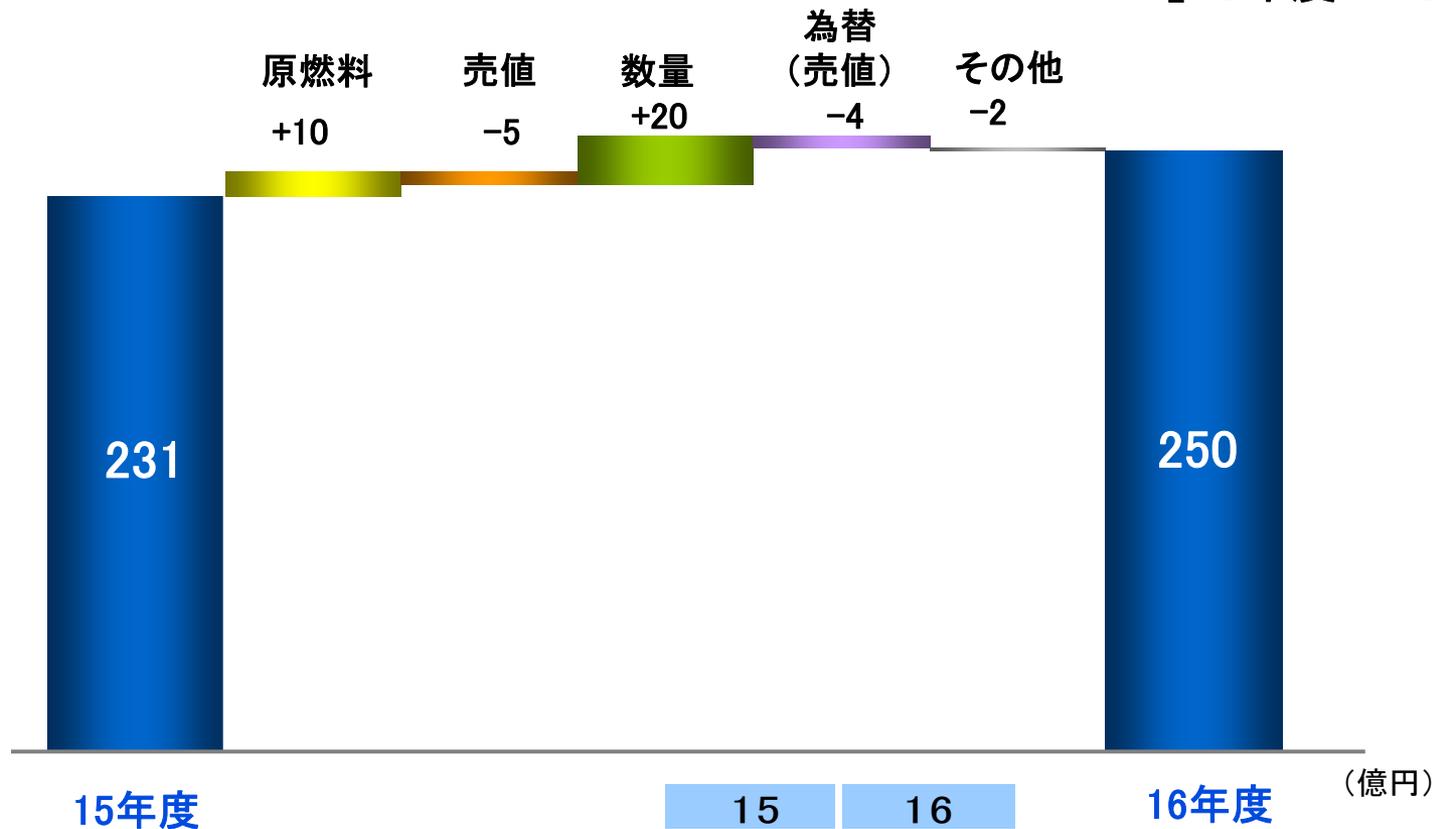
(1) 業績予想

(億円)

	15年度実績	16年度予想	増 減	
			金額	%
売上高	3,478	3,600	+122	+3.5%
営業利益	231	250	+19	+8.1%
(営業利益率)	6.6%	6.9%	-	-
経常利益	204	230	+26	+12.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	101	130	+29	+28.1%
EPS(円)	11.43	14.64	-	-
減価償却費	144	150	+6	-
設備投資	173	180	+7	-
為替レート(円/US\$)	120	115		
国産ナフサ価格(千円/KL)	43	43		

営業利益増減要因予想

【15年度→16年度】



	15	16
円レート (¥/\$)	120	115
国産ナフサ (千円/kl)	43	43

(2) セグメント別予想

(億円)

	売上高		営業利益		増減
	15年度	16年度	15年度	16年度	
フィルム・機能樹脂	1,434	1,464	99	115	+16
産業マテリアル	705	755	63	69	+6
ヘルスケア	277	317	47	52	+5
スペシャルティ計 (営業利益率)	2,416	2,536	209 8.7%	236 9.3%	+27
繊維・商事	855	857	25	18	-7
不動産・その他	206	207	28	28	+0
消去・全社	-	-	-32	-32	+0
合計	3,478	3,600	231	250	+19

ご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡株式会社